

会議録（要点筆記）

会 議 名	平成 28 年度 第 1 回米原市環境審議会
開 催 日 時	平成 28 年 7 月 12 日（火） 午前 10 時 00 分～午前 11 時 15 分
開 催 場 所	米原市役所山東庁舎 会議室 2 A B
出席者および欠席者	出席者：青山誠司委員、伊夫伎博夫委員、門脇政光委員、嶋野美知子委員、須藤明子委員、高森茂美委員、中野桂委員、仁連孝昭委員（会長）、藤田知丈委員、室谷菊司委員、八上弥一郎委員 事務局：山田経済環境部長、奥村課長、松居課長補佐、田中主査、二之宮主任、鎌田主任（環境保全課） 傍聴者：1 人 欠席者：伊藤和典委員、中山智博委員、谷口絹代委員、皆川明子委員
議 題	・ 審議会のスケジュールについて ・ 第 2 次環境基本計画策定について
結 論 （決定した方針、残された問題点、保留事項等を記載する。）	<ul style="list-style-type: none"> ➤ 会長に仁連孝昭委員、副会長に須藤明子委員が選任された。 ➤ 審議会スケジュールについて、第 2 次環境基本計画検討の期間、機会を十分とれるよう配慮することとされた。 ➤ 第 2 次環境基本計画策定の諮問に基づき、論点（将来像、実施体制、財政面の記述、重点事項）の確認がなされた。
事務局	1 開会 審議会については原則公開となり、傍聴者を認めておりますこと御了承いただきたい。
市長	2 市長あいさつ 米原市は日本百名山の一つである伊吹山を擁し、伊吹山や霊仙山から流れ出した水が琵琶湖へと注ぐ水と緑に恵まれたまちであり、「びわ湖の素 米原」として全国に発信している。しかし、現実の私たちの暮らしの足元を見ていると、地球規模での環境問題を引き起こしているのもまた一方で事実ではないか。この恵まれた米原市の環境にありながら、暮らしや行動を見詰め直すべき時にきているのではないかと思う。本市では、市民中心の再生可能エネルギーの導入、ピワマスやホテルなどの保護活動、米原ならではの環境にやさしい暮らしの発信、また、美化活動、森林保全事業、公害防止、湖北広域行政事務センターとの連携など、多岐にわたり持続可能な循環型社会の構築を推進している。これら多様な環境施策の基本となるのが「環境基本計画」であり、この第 2 次計画策定に向けて様々な観点から御審議くださるよ

委員各位	<p>う、よろしくお願ひしたい。</p> <p>3 委員委嘱状の交付 委員を代表して須藤委員に交付。</p> <p>4 自己紹介 資料1に基づき委員各位による自己紹介。</p>
事務局	<p>5 環境審議会について 資料2に基づき事務局から説明。 米原市環境審議会規則第3条第3項の規定に基づき、15人中11人の委員が出席しているため、審議会が成立していることを説明した。</p> <p>6 会長、副会長の選出 会長に仁連孝昭委員、副会長に須藤明子委員が選出された。</p> <p>7 諮問 市長から委員長へ諮問書の提出。</p> <p>8 議事 進行を事務局から会長に交代。</p>
事務局	<p>事務局から、議事(1)「審議会のスケジュールについて」、議事(2)「第2次環境基本計画策定について」を合わせて説明(資料3、資料4)。</p>
会長	<p>事務局より審議会のスケジュールと第2次環境基本計画策定の流れを説明していただきました。ご質問があればお願いします。</p> <p>先ほど市長から第2次米原市総合計画の紹介がありましたが、総合計画では環境の分野についてどういう風にしようと考えられているのでしょうか。</p>
事務局	<p>市の総合計画の中では、環境と防災がセットになって位置付けられています。基本方針は、先ほどの諮問書の中にも出てきた「水清く緑あふれる自然と共生する安全なまちづくり」とし、「豊かな自然を次世代に引き継ぐため、人と自然が共生するまちづくり」、「民の生命や財産を災害から守り、安心して暮らすことができるよう、自助・共助・公助による助け合いの体制を構築していく」というようなことが書かれています。環境に関わる場所では、</p>

	<p>自然環境、生活環境、景観の3つに基本施策が分かれており、具体的な内容については、実施計画（アクションプラン）を毎年度ローリング方式で3年毎の計画を立てるということになっています。</p>
会長	<p>総合計画の期間はいつからいつまでですか。</p>
事務局	<p>平成29年度から10年間なので、平成39年までです。</p>
会長	<p>平成38年度までですね。環境基本計画は平成30年度から平成39年度までで、1年ずれがあると。総合計画があまり具体的に環境分野の計画は定められておらず、大きな柱だけですか。</p>
事務局	<p>そうです。環境基本計画がありますので、大枠となっています。詳細の部分は、この環境基本計画の中で決めていくかたちになります。</p>
会長	<p>今年度は今日を除いて1回審議会が予定されていますが、それまでに基礎調査として、市の方で進めていくということですか。</p>
事務局	<p>そうです。来年度2月まで、市の方で検討を進めていきたいと考えています。</p>
会長	<p>市と、それから環境フォーラムの人たちと一緒にやっていくと。</p>
事務局	<p>はい。</p>
会長	<p>進め方について、いかがでしょうか。</p>
副会長	<p>庁内推進委員会の体制ですが、複数の課にまたがっているかたちですね。できたら教えてほしいです。エコスタイル推進チームの方も。</p>
事務局	<p>庁内推進委員会については、政策推進課、管財課、地域振興部、子育て支援課、商工観光課、農政課、林務課、建設課、都市計画課、上下水道課、学校教育課、生涯学習課、歴史文化財保護課、全部で13の課です。</p> <p>各部にまたがっていますし、4庁舎ありますけども、それぞれ環境に関連する部署に入っています。</p>

会長	市にはいくつの課がありますか。
事務局	はっきりした数字は分かりませんが、20以上あるかと思います。
会長	そうすると半分程度が入っているということですか。
事務局	そうですね、30程度あると思いますので、3分の1程度になります。
副会長	最初の市長がお話しなさった「びわ湖の素まいばら」というのは、これで打ち出していこうというのはもう決まっているのですか。
事務局	米原市のシティセールスプランというものを平成27年度に作り、そのキャッチフレーズが「びわ湖の素」です。 しずくの形が名札にも使われています。
副会長	これはもう確定したものとして、セールスにすでに使われている言葉ということですね。
事務局	そうです。まだまだ浸透していないところもあるのですが。
副会長	そのしずくの形はすごく印象に残っていますが、「びわ湖の素」という名前は気付いてなくて、失礼しました。 シティセールスプラン作成のときに広くアンケートをとられ、確か米原のイメージが伊吹山だったと聞いたように記憶しています。正しいですか。
事務局	そうです。シティセールスプランを作るに当たっては、ステキ調査という名前で米原市の良い所と悪い所を合わせて調査し、今御指摘いただいたように、伊吹山と琵琶湖というのはやはりイメージとして突出する結果になりました。住んでいる人からも、外からも、伊吹山というのは見られているというのを改めて気付かせていただいた。そこも含めて、米原市を売っていく要素の一つとして取組を始めています。
副会長	ちなみに良くないところというのはどういうところが挙げられていたのでしょうか。
事務局	公共交通機関です。充実していない。それと、都市部、繁華街が無いとい

	うところであったと記憶しています。
副会長	ありがとうございます。
会長	ほかに何かありますでしょうか。
委員	すみません。5ページの環境フォーラムの欄にマルシェとありますが、環境フォーラムとマルシェはイコールなのですか。以前は環境フォーラムとして年に1回開催されていたように思いますが。
事務局	先ほど藤田委員からもお話しありましたように、協働事業で、市と市民グループと協働でゆっくりマルシェの取組を進めさせていただくなかで、1回は環境フォーラムとして取組むと位置づけさせていただきました。
委員	前にやっていた年に1回の環境フォーラムというのは11月のマルシェということですか。
事務局	環境フォーラムも開催させていただくのですが、協働事業として開催させていただくというかたちです。
委員	ワークショップだけがフォーラムではなく、ゆっくりマルシェのメンバーと、市の方で、一緒にこれからやっていきます。今までは実行委員会方式で組織して環境フォーラムを実施していたのを、YUKKURI米原という団体に運営体制が変わって、事業をやっていくことになりました。
事務局	27年度は農林水産まつりと同じときに環境フォーラムを開催しましたが、今年からは、協働事業のなかに位置づけさせていただきました。
委員	農林水産まつりも一緒になるのですか。
事務局	いろいろな関係があり農林水産まつりは今年は無いかたちとなりました。
委員	環境フォーラムの運営を、YUKKURI米原さんがするという感じでしょうか。
事務局	イベントや出店等も含めて、市と一緒に、環境フォーラムとしてさせてい

	<p>ただくということとなっています。</p>
<p>委員</p>	<p>環境は、当然コスト効率も求めていくと思いますが、一方で人権という面で、可能なものはできるだけやりたいという面も出てくると思います。そういったときに、この諮問機関でコストや財政面はどこまで考慮すべきなのか。ある程度の基準、ベースというのは持っているのかどうか。今環境に使っているのはこれ位なので、これ位までは取り組めそうだとか、あるいはそれよりもっと効率化しないとイケないとか。今時点で明確な数字は無いかもしれませんが、そういった思いがあるのでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>実際環境面というのは、市の行政のそれぞれの中で「これ」といったかたちで金額が出ているわけでは無いのですが、お金を伴う部分も出てきますので、それは財政的に厳しい部分がございますので、知恵を出して、お金を極力少なくするかたちで環境面に取り組んでいく。この環境基本計画のなかで、将来に向けて考えていくなかで、御検討をいただきたい。</p>
<p>委員</p>	<p>今時点では明確なものは無いのですね。</p>
<p>事務局</p>	<p>無いです。</p>
<p>会長</p>	<p>よろしいですか。</p>
<p>委員</p>	<p>スケジュールについて、環境基本計画は米原らしい計画にしていきたいというお話でした。これはどこの自治体でもそうだと思いますが、策定を支援する業者を今回も計画されています。それが来年の5月頃からスタートで策定が年度末ということですが、もう少し早い時期から意見をとりまとめていくということはお考えか、意見をお聞かせいただきたい。</p>
<p>事務局</p>	<p>予算の枠がありますので、計画を策定するのに繰越ということも検討していきたい。また、28年度当初から取り掛かれるようなことも考えていきたいと思います。どうするかということはまだ決まっていますが、極力時間をとって具体的に進められるよう検討していきたいと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>ほかにいかがでしょうか。 今年度はどこまで進めることを計画されているのでしょうか。</p>

事務局	<p>今年度は、将来像、未来像の検討までは行ければと考えています。</p> <p>参考資料の方で、途中までですが検討いただいている状況がありますので、それも現状に合わせた形で修正できればと考えています。</p>
副会長	<p>確認ですが、今現状の目指すべき環境像は「ホテルが輝き 笑顔あふれる 田舎都市 まいばら」というものですが、私のイメージでは、「びわ湖の素まいばら」とかいろんなものを受けて、これそのものが変わると理解しているのですが、それでよろしいですか。</p>
事務局	<p>はい。今おっしゃったように、総合計画のキャッチフレーズも同様に変えさせていただきます。10年間というところかなり社会背景も変わっていますので、大名目であるタイトルについても、こちらから案を出して検討いただくのか、案をいただいて検討するのかまだ分かりませんが、そこも含めて御検討いただきたいと考えています。</p>
副会長	<p>ありがとうございます。今おっしゃられたように10年の間にホテルというものに対するイメージもずいぶん変わってしまい、今あまり良くないイメージも強いので、できればホテルを前に出すのはどうかと個人的には思っています。</p>
会長	<p>よろしいですか。</p> <p>他に何でも結構ですので、御意見ございましたらよろしくお願いします。</p>
委員	<p>参考資料の方で、分野や環境目標、基本方針などは、すでに策定が進められているということですが、まだ検討の余地はあるということですね。</p>
事務局	<p>そうです。</p>
委員	<p>一つお話したいのは、県や国などの大きな計画の中では温暖化対策というのが大きな柱の一つになってきています。米原らしさということで、温暖化はしないというのも一つの考え方だと思いますが、今お聞きしていると庁内でいろんな取組をされているということなので、温暖化が柱に入らないかなということが一つです。それから参考資料の5ページで、分野5の生活環境の面で、他の分野は課題や対策のボリュームも多くとられていますが、生活環境の分野は「大きな課題はない」等となっています。これはもう少し掘り下げていけば課題がいろいろ出てくるのではないかと。潜在的な部分や、も</p>

<p>会長</p>	<p>もう少し前向きな課題などもあると思いますので、その辺りも積み上げていただいてさらに上を目指した計画を作っていただければと思います。</p> <p>今意見いただいたところはこれから検討していくということでよろしいですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>はい。よろしくお願ひしたいと思います。</p> <p>(進行を会長から事務局に交代)</p> <p>9 その他 (特になし)</p> <p>10 閉会</p>

(11:15)

